

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」で設定する目標等について

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現状の 数値	単 位	本 年度 の 目 標 値	本 年度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
②学校と地域の 課題	学校支援ボランティ アの確保・育成	地域学校協働活動を実施する 上での課題として、多くの市町 村がコーディネーターや推進員 等の人材確保が困難となってい る。	運営に関わることへのハードルを下げる ことを念頭に、小中学校や関係機関を通 じ、幅広い層へ事業参加を求める。	小中学校や関係機関と連携して 確保に取り組むことで、子どもた ちを育むための学校支援活動を 推進する。	各中学校区の推進員及び 学校コーディネーターの人数	16	人	17	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校区に推進員を配置することで、各種イベントに係る地域ボランティアの確保や連絡調整、学校との連携を円滑に進めることができたが、市内1校について学校コーディネーターが欠員となったままの状況であった。当該校については、当該校の属する中学校区の推進員が主として活動を行った。</li> <li>・長年担い手となっている推進員等の世代交代についても課題となっている。</li> <li>・目標値とする推進員等の確保に向け、これまで以上に担い手確保に向けた取組を進める必要がある。</li> </ul>